

平成25年度 保育所運営の実態とあり方に関する調査票

社会福祉法人 日本保育協会
東京都渋谷区神宮前5-53-1

※ この調査票の回答者について、該当する職名の番号を1つだけ選んで○を付けてください。

(回答者は、原則として保育所長とします)

- 1 保育所長 2 主任保育士 3 保育士 4 市区町村の担当者 5 その他

※ 調査時点は、平成25年8月1日現在とします。

I 保育所の基本情報について

貴保育所の設置状況等についてお答えください。

- 1 経営主体について、該当する番号に1つだけ○を付けてください。(「公設民営」は民営とします)

- 1 市町村などの公営(↓3へ) 2 社会福祉法人立などの民営(↓2へ)

- 2 貴保育所を含む同一法人内の認可保育所数について、1つだけ選んで○を付けてください。

- 1 1ヶ所 2 2ヶ所 3 3ヶ所 4 4ヶ所 5 5ヶ所 6 6ヶ所 7 7ヶ所
8 8ヶ所 9 9ヶ所 10 10ヶ所～14ヶ所 11 15ヶ所～19ヶ所 12 20ヶ所以上

- 3 貴保育所の所在地をご記入ください。

- 1 都道府県名 () 2 市区名 ()
3 町村名 ()

- 4 貴保育所の施設認可年をご記入ください。

昭和・平成 () 年

- 5 貴保育所の児童定員数をご記入ください。

児童定員数 () 人

※認定こども園の場合は、保育所部分の児童定員数のみご記入ください。

- 6 貴保育所のクラス別在籍児童数をご記入ください。

※認定こども園の場合は、保育所部分の在籍児童数のみご記入ください。

年齢区分	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳以上 児クラス	合計
児童数	人	人	人	人	人	人	人

※ 質問はおもて・うらの両面にあります。

II 待機児童問題、過疎地問題について

保育所は、市町村の児童福祉事業として都市部の待機児童や過疎地での少子化などの需要の増減に柔軟に対応し、子どもに保育を保障していかなければなりません。そこで、各保育所での対応の現状、課題についてお尋ねします。

7 地域の保育需要への対応について、貴保育所が該当するものを1つだけ選んで○を付けてください。

- 1 待機児童への対応が急務であり、まだ需要の減少については考えていない
- 2 待機児童対策をしつつ、需要が減少する場合の事業のあり方についても考えている
- 3 需要が減少しつつあり、対応をすでに考えている
- 4 市町村の方針によるものであり、なんともいえない

8 次のうち、待機児童解消や需要減少の対応について該当するものがあれば、○を付けてください（複数回答可）。

（待機児童解消の対応として）

- 1 定員を超えて受け入れている
- 2 空き部屋利用などにより定員を増やした
- 3 分園の開設や、増改築を行って定員を増やした
- 4 新規に認可保育所を開設した
- 5 法人として、家庭的保育事業に取り組んでいる

（需要減少の対応として）

- 6 定員減を行い、子どもの保育環境を改善している
- 7 地域の子育て支援事業を充実させている
- 8 放課後児童クラブなど学齢期の子どもへの支援を提供している
- 9 子ども以外を対象とした地域のための事業を行っている
- 10 新設や改築の園舎設計にあたっては、将来の規模縮小も想定して、他の事業も実施できるように工夫している
- 11 定員減を行いたいが、行政が認めてくれない
- 12 その他（）

下記の設問9～12については、民営保育所にお尋ねします。お考えに近いものに○を付けてください。

9 待機児童が多い地域で新規に保育所（民設）を開設したい（1つだけ選ぶ）。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 地域の中でならやりたい | 2 遠隔地であってもやりたい |
| 3 保育所を増やしたくない | 4 考えたことがない |

10 公立保育所の業務委託や指定管理者制度を積極的に受けたい（1つだけ選ぶ）。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 地域の中でならやりたい | 2 遠隔地であってもやりたい |
| 3 保育所を増やしたくない | 4 考えたことがない |
- 5 委託条件や指定管理条件によっては、やりたい

11 上記の設問9と10において、「1」、「2」、「5」のいずれかに○を付けた方は、理由として該当するものに○を付けてください（複数回答可）。

- 1 培ってきた保育をより多くの児童に提供し、次世代育成に貢献したい
- 2 蓄積してきた財力を活用したい
- 3 蓄積してきた人材力を活用したい
- 4 事業の存続のために事業拡大が必要と考えられるから
- 5 その他（ ）

12 上記の設問9と10において、「3」、「4」のいずれかに○を付けた方は、理由として該当するものに○を付けてください（複数回答可）。

- 1 やがてはどこも需要減となり経営が行き詰まると思うから
- 2 現在の事業規模がちょうどよいと考えているから
- 3 財力が不足しているから
- 4 人材力が不足しているから
- 5 国や自治体の支援に不安があるから
- 6 その他（ ）

Ⅲ 保育所の地域貢献について

保育所は地域にとって重要な子育て支援拠点であり社会資源です。今後新たな子ども・子育て支援制度がスタートするのに伴い、地域の期待は益々高まり、地域への貢献が期待されます。そこで貴保育所が取り組んでいる地域貢献や公益的な事業についてお尋ねします。

13 貴保育所が通常保育以外で取り組んでいる地域活動事業に○を付けてください（複数回答可）。

- | | |
|--|-----------|
| 1 地域子育て支援拠点事業などの子育て支援事業（市町村や保育所独自の事業も含む） | |
| 2 一時預かり事業 | 3 特定保育事業 |
| 4 延長保育促進事業 | 5 休日保育事業 |
| 6 病児・病後児保育事業 | 7 家庭的保育事業 |
| 8 夜間保育事業 | 9 その他（ ） |

14 次のような福祉的機能を重視した取り組みをしていますか。該当するものに○を付けてください（複数回答可）。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 被虐待児の受け入れ | 2 生活困窮家庭児童の受け入れ |
| 3 障がい児の受け入れ | 4 一人親家庭児童の受け入れ |
| 5 妊婦や親子の保育体験や相談指導の実施 | 6 その他（ ） |

15 地域の関係機関との連携・協働等について、貴保育所が実施しているものに○を付けてください（複数回答可）。

- 1 民生児童委員・主任児童委員
- 2 小学校、中学校、高等学校との交流や研修等

- 3 児童相談所、発達支援センター、保健センター（保健所）
- 4 地域社会福祉協議会、町内会等
- 5 老人福祉施設、児童福祉施設など社会福祉施設との交流等
- 6 消防署、警察署等（幼年消防活動など）
- 7 他の保育所
- 8 その他（ ）

16 その他の地域貢献や公益的取り組みについて貴保育所が実施しているものに○を付けてください（複数回答可）。

- 1 地域の公園、道路の清掃活動など
- 2 保育ボランティア、職場体験の受け入れ
- 3 ホール、保育室、園庭等の開放
- 4 災害時における地域住民の避難場所として開放
- 5 備品、設備、図書等の地域住民への貸し出し
- 6 保育所行事（お祭など）の地域住民への開放
- 7 研修会や勉強会等への保育士の講師派遣・出前保育等
- 8 事業内容や運営・経営内容の情報提供や公開
- 9 第三者評価等の受審結果の公表
- 10 その他（ ）

17 今後の地域貢献や公益的取り組みの必要性についてお尋ねします。貴保育所が最も該当するものを1つだけ選んで○を付けてください。

- 1 大変重要であり、今後積極的に取り組む必要がある
- 2 どちらかといえば、取り組む必要がある
- 3 必要とは思いますが、どのように取り組んだらよいか分からない
- 4 必要とは思いますが、取り組む時間、人材、会場、資金などに余裕がない
- 5 必要性は感じない
- 6 その他（ ）

IV 新たな子ども・子育て支援制度について

現在、新たな子ども・子育て支援制度の施行に向けて、検討や準備が行われています。今のところ具体的な内容についてはまだ明らかではありませんが、現時点における新たな制度についての認識や意向についてお尋ねします。

18 制度についてどの程度理解されていますか。1つだけ選んで○を付けてください。

- 1 とてもよく理解している（↓19へ）
- 2 おおむね理解している（↓19へ）
- 3 あまり理解していない（↓19へ）
- 4 全く理解していない（↓「V 保育士の人材確保について」へ）

19 新たな子ども・子育て支援制度で関心があり、詳細を知りたい内容についてお尋ねします。

より関心のあるものを3つ選んで○を付けてください。

- 1 公定価格、利用者負担
- 2 市町村による保育の必要性認定
※保育の必要性及び保育の必要量＜保育標準時間・保育短時間＞の認定
- 3 確認制度について（利用定員の考え方）
- 4 保護者への個人給付による法定代理受領の仕組み
- 5 教育・保育内容の基準「幼保連携型認定こども園保育要領（仮称）」
- 6 幼保連携型認定こども園の設置基準、配置職員について
- 7 その他（）

20 貴保育所では、幼保連携型認定こども園への移行についてどのようにお考えですか。1つだけ選んで○を付けてください。

- 1 移行を考えている（↓21へ）
- 2 今のところ移行は考えていない（↓22へ）
- 3 具体的な制度内容が分からないので判断ができない（↓「Ⅴ 保育士の人材確保について」へ）
- 4 公立なので、市町村の判断に従う（↓「Ⅴ 保育士の人材確保について」へ）
- 5 その他（）

21 貴保育所が幼保連携型認定こども園への移行を考えている場合の移行年度の予定についてお尋ねします。1つだけ選んで○を付けてください。

- 1 平成27年度
- 2 平成28年度以降
- 3 移行の年度は今のところ決めていない

22 貴保育所が幼保連携型認定こども園への移行を考えていない理由についてお尋ねします（複数回答可）。

- 1 新制度の詳細が明らかでないため（公定価格、給付など）
- 2 児童福祉施設として事業を継続していきたいため
- 3 受け入れ児童が3歳未満児のため
- 4 設置主体が公営や社会福祉法人でないため
- 5 その他（）

Ⅴ 保育士の人材確保について

増加する保育需要や待機児童解消への取り組みに伴い、全国的に保育士の不足が課題とされています。そこで、貴保育所が取り組まれている保育士の人材確保の状況についてお尋ねします。

これから就職する大学生・短期大学生を採用するにあたり、各々の項目についてどのようにお考えですか。最もよく当てはまるものを1つだけ選んで○を付けてください。

23 実習先が貴保育所であったこと

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

24 保育所の出身（卒園生）であること

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

25 学業の成績

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

26 ピアノの技術が身についていること

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

27 保育技術（ピアノ以外）が身についていること

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

28 一般常識が身についていること

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

29 養成校等からの推薦があること

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

30 コミュニケーション能力があること

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

31 保育所の保育方針を理解していること

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

32 仕事に対する向上心があること

1 重視していない 2 あまり重視していない 3 まあまあ重視している 4 とても重視している

就職した新人職員（概ね3年以内）が働きやすいように、あるいはやりがいを持てるように工夫していることとして、各々の項目について最もよく当てはまるものを1つだけ選んで○を付けてください。

33 給与等の処遇の改善をしている

1 していない 2 あまりしていない 3 まあまあしている 4 している

34 職員の能力に応じた仕事をさせるようにしている

1 していない 2 あまりしていない 3 まあまあしている 4 している

35 やりたい仕事（担任、担当クラスなど）の希望を聞くようにしている

1 していない 2 あまりしていない 3 まあまあしている 4 している

36 休暇を取りやすい体制にしている

1 していない 2 あまりしていない 3 まあまあしている 4 している

37 職員の勤務時間（残業が多くならないように等）に配慮している

1 していない 2 あまりしていない 3 まあまあしている 4 している

38 事務作業が軽減するよう配慮している

1 していない 2 あまりしていない 3 まあまあしている 4 している

39 職場の人間関係になじめるよう配慮している

1 していない 2 あまりしていない 3 まあまあしている 4 している

40 職員の能力を引き上げられるよう研修等に積極的に参加させている

1 していない 2 あまりしていない 3 まあまあしている 4 している

